

平成 30 年度

シラバス

6年次 課題別講義



日本大学松戸歯学部

平成30年度 6年次前期 課題別講義

1. **実施時期**：平成30年4月2日～6月30日

2. **一般目標(GIO)**：臨床歯科医学における問題解決能力の素地を養うために、歯科基礎医学的知識について習得する。

3. 講義実施要項

- 1) 講義教室：400 教室(学科目あるいは実施内容によっては変更する可能性あり)
- 2) 講義時間：4月は8:40～9:30、5・6月は8:40～12:00（自修時間・確認テストを含む）
- 3) 当該学科目の講義当日に講義内容についての確認テスト(10分間)及びその解説(20分間)を実施する。
4月 17:40～18:10、5・6月 11:30～12:00

4. 平常試験

MCQ形式の試験とする。なお、平常試験の追試験は行わない。

	分野(問題数)	合計	出題範囲
平常試験1 (4/16)	解剖学(5)、病理学(5)、組織学(5)、生理学(5)、生化学(5)、 歯科理工学(5)、微生物学(5)、薬理学(5)、衛生学(10)	50題	期間①など
平常試験2 (5/1)	解剖学(5)、病理学(5)、組織学(5)、生理学(5)、生化学(5)、 歯科理工学(5)、微生物学(5)、薬理学(5)、衛生学(5)、 口腔診断学(5)	50題	期間②
平常試験3 (5/21)	解剖学(10)、病理学(10)、組織学(10)、生理学(10)、生化学 (10)、歯科理工学(10)、微生物学(10)、薬理学(10)、衛生学(20)	100題	期間③
平常試験4 (6/4)	解剖学(10)、病理学(10)、組織学(10)、生理学(10)、生化学 (10)、歯科理工学(10)、微生物学(10)、薬理学(10)、衛生学(20)	100題	期間④
平常試験5 (6/18)	解剖学(10)、病理学(10)、組織学(10)、生理学(10)、生化学 (10)、歯科理工学(10)、微生物学(10)、薬理学(10)、衛生学(20)	100題	期間⑤

5. 再試験

MCQ形式の試験とする。

	分野(問題数)	合計	出題範囲
再試験* (6/30)	解剖学(10)、病理学(10)、組織学(10)、生理学(10)、生化学(10)、 歯科理工学(10)、微生物学(10)、薬理学(10)、衛生学(20)	100題	期間①～⑤

*医療行動科学9再試験と同日実施

6. 評価

平常試験 1～5 の平均正答率が 70%以上を合格基準とする。合格基準に達しなかった者に対し再試験を行う。再試験の正答率 70%以上の者を合格者とする。平常試験結果を合格判定に加味できる。

平成30年度 課題別講義日程表

出席確認 8:35~8:40 (400教室)、補習 5・6月17:30~

月日	曜	講義(試験)時間	分野	期間	テーマ	オーガナイザー	担当講座	講義担当者
4月2日	月	10:00~10:50 (11:00~11:30確認 テスト・解説)	病理学①	①	先天異常	宇都宮 忠彦	病理学	宇都宮 忠彦
4月3日	火	8:40~9:30 (17:40~18:10 確 認テスト・解説)	解剖学①		歯の形態	松野 昌展	解剖学	佐々木佳世子、松野 昌展
4月4日	水		衛生学①		歯科疾患の予防・管理①	有川 量崇	衛生学	田口 千恵子
4月5日	木		歯科理工学①		歯科材料・歯科生体材料の基本的性質、応力-ひずみ曲線	谷本 安浩	歯科生体材料学	谷本 安浩
4月6日	金		薬理学①		薬物の作用部位・作用機序①	松本 裕子	薬理学	松本 裕子
4月8日	日							
4月9日	月	8:40~9:30 (17:40~18:10 確 認テスト・解説)	生化学①		生体を構成する基本物質	平塚 浩一	生化学・分子生物学	平塚 浩一
4月10日	火		組織学①		細胞および上皮組織の構造	玉村 亮	組織学	玉村 亮
4月11日	水		衛生学②		歯科疾患の予防・管理②	有川 量崇	衛生学	田口 千恵子
4月12日	木		微生物学①		微生物の基本的性状	栗原 紀子	感染免疫学	栗原 紀子
4月13日	金		生理学①		自律神経の生理	加藤 治	生理学	吉垣 純子
4月15日	日							
4月16日	月	8:40~9:30	平常試験1					
4月17日	火	8:40~9:30 (17:40~18:10 確 認テスト・解説)	解剖学②		神経系総論・自律神経	松野 昌展	解剖学	松野 昌展
4月18日	水		口腔診断		医療面接と診療録記載	有川 量崇	歯科総合診療学	多田 充裕
4月19日	木		歯科理工学②		歯科材料・歯科生体材料の生物学的性質、義歯床用材料	谷本 安浩	歯科生体材料学	谷本 安浩
4月20日	金		生理学②	内分泌の生理	加藤 治	生理学	吉垣 純子	
4月22日	日							
4月23日	月	8:40~9:30(17:40 ~18:10 確認テス ト・解説)	病理学②	循環障害	宇都宮 忠彦	病理学	宇都宮 忠彦	
4月24日	火		組織学②	支持組織(結合組織、筋組織および神経組織)の構造	玉村 亮	組織学	玉村 亮	
4月25日	水		衛生学③	歯科疾患の予防・管理③	有川 量崇	衛生学	田口 千恵子	
4月26日	木		微生物学②	自然免疫と獲得免疫	栗原 紀子	感染免疫学	落合 智子	
4月27日	金		薬理学②	薬物の作用部位・作用機序②	松本 裕子	薬理学	松本 裕子	
4月28日	土		生化学②	エネルギー代謝とホメオスタシス	平塚 浩一	生化学・分子生物学	平塚 浩一	
4月29日	日							
4月30日	月							
5月1日	火	8:40~9:30	平常試験2					
5月3日	木							
5月4日	金							
5月5日	土							
5月6日	日							
5月7日	月	8:40~10:30 (11:30~12:00確認 テスト・解説)	生化学③	細胞外基質と炎症性ケミカルメディエーター	平塚 浩一	生化学・分子生物学	平塚 浩一	
5月8日	火		解剖学③	骨と筋	松野 昌展	解剖学	五十嵐由里子	
5月9日	水		衛生学④	保健医療総論①	有川 量崇	保健医療政策学	笹井 啓史	
5月10日	木		歯科理工学③	印象材、合着・接着用材料、成形修復材料	谷本 安浩	歯科生体材料学	岩崎 太郎	
5月11日	金		生理学③	循環調節の生理	加藤 治	生理学	吉垣 純子	
5月13日	日							
5月14日	月	8:40~10:30 (11:30~12:00確認 テスト・補足)	病理学③	退行性病変・進行性病変	宇都宮 忠彦	病理学	宇都宮 忠彦	
5月15日	火		組織学③	骨組織と軟骨組織の構造、および血液の成分	玉村 亮	組織学	玉村 亮	
5月16日	水		衛生学⑤	保健医療総論②	有川 量崇	保健医療政策学	笹井 啓史	
5月17日	木		微生物学③	感染と感染防御	栗原 紀子	口腔健康科学	續橋 治	
5月18日	金		薬理学③	適用方法、薬物動態	松本 裕子	薬理学	松本 裕子	
5月20日	日							
5月21日	月	8:40~10:20	平常試験3					
5月22日	火	8:40~10:30 (11:30~12:00確認 テスト・解説)	解剖学④	骨と神経・脈管	松野 昌展	解剖学	五十嵐由里子	
5月23日	水		衛生学⑥	保健医療総論③	有川 量崇	保健医療政策学	笹井 啓史	
5月24日	木		歯科理工学④	模型材、ワックス、鋳造の要点、埋没材	谷本 安浩	歯科生体材料学	谷本 安浩	
5月25日	金		生理学④	呼吸調節の生理	加藤 治	生理学	吉垣 純子	
5月26日	土		薬理学④	鎮痛薬、抗炎症薬、止血薬、抗血栓薬	松本 裕子	薬理学	松本 裕子	
5月27日	日							
5月28日	月	8:40~10:30 (11:30~12:00確認 テスト・解説)	病理学④	炎症	宇都宮 忠彦	病理学	宇都宮 忠彦	
5月29日	火		組織学④	エナメル質、セメント質および象牙質・歯髄複合体の構造	玉村 亮	組織学	玉村 亮	
5月30日	水		衛生学⑦	健康管理・増進と予防①	有川 量崇	衛生学	後藤田 宏也	
5月31日	木		微生物学④	免疫異常(免疫不全、アレルギー、自己免疫疾患)	栗原 紀子	感染免疫学	落合 智子	
6月1日	金		生化学④	染色体とタンパク質合成	平塚 浩一	生化学・分子生物学	平塚 浩一	
6月3日	日							
6月4日	月	8:40~10:20	平常試験4					
6月5日	火	8:40~10:30 (11:30~12:00確認 テスト・解説)	解剖学⑤	全身の解剖学(人体の構造と機能概要)	松野 昌展	解剖学	松野 昌展	
6月6日	水		衛生学⑧	健康管理・増進と予防②	有川 量崇	衛生学	後藤田 宏也	
6月7日	木		歯科理工学⑤	陶材、陶材焼付用金属、歯科用レジン、切削・研削・研磨材料、歯科用レーザー	谷本 安浩	歯科生体材料学	岩崎 太郎	
6月8日	金		生理学⑤	興奮性細胞の生理学	加藤 治	生理学	吉垣 純子	
6月9日	土		病理学⑤	腫瘍・嚢胞	宇都宮 忠彦	病理学	宇都宮 忠彦	
6月10日	日							
6月11日	月	8:40~10:30 (11:30~12:00確認 テスト・解説)	生化学⑤	歯と歯周組織および唾液の構成成分	平塚 浩一	生化学・分子生物学	平塚 浩一	
6月12日	火		組織学⑤	口腔粘膜および唾液腺の構造	玉村 亮	組織学	玉村 亮	
6月13日	水		衛生学⑨	健康管理・増進と予防③	有川 量崇	衛生学	後藤田 宏也	
6月14日	木		微生物学⑤	病原微生物と感染症	栗原 紀子	感染免疫学	栗原 紀子	
6月15日	金		薬理学⑤	抗感染症薬、抗腫瘍薬、代謝改善薬、ビタミン	松本 裕子	薬理学	松本 裕子	
6月17日	日							

月日	曜	講義(試験)時間	分野	期間	テーマ	オーガナイザー	担当講座	講義担当者
6月18日	月	8:40~10:20	平常試験5					
6月20日	水	8:40~11:00	衛生学弱点講義			有川量崇	衛生学	有川量崇
6月21日	木		微生物学弱点講義			栞原紀子	感染免疫学・口腔健康科学	落合智子・栞原紀子・續橋治
6月22日	金		薬理学弱点講義			松本裕子	薬理学	松本裕子
6月23日	土		生化学弱点講義			平塚浩一	生化学・分子生物学	平塚浩一
6月24日	日							
6月25日	月	8:40~11:00	病理学弱点講義			宇都宮忠彦	病理学	宇都宮忠彦
6月26日	火		組織学弱点講義			玉村亮	組織学	玉村亮
6月27日	水		解剖学弱点講義			松野昌展	解剖学	松野昌展
6月28日	木		歯科理工学弱点講義			谷本安浩	歯科生体材料学	谷本安浩
6月29日	金		生理学弱点講義			加藤治	生理学	加藤治
6月30日	土	10:00~11:40	再試験					

講義日 時限 国試出題基準
04月02日 1時限 必修-7-A-b 総論-III-2-A-a 総論-III-2-A-g

担当者 宇都宮 忠彦

テーマ： 先天異常・奇形

授業の一般目標： 病因・病態を理解するために、先天異常及び奇形に関する病理学的知識について学修する。

到達目標 S B O s :

- 1) 先天異常を分類できる。
- 2) 遺伝障害について説明できる。
- 3) 胎児障害について説明できる。
- 4) 奇形の成り立ちについて説明できる。
- 5) 口腔・顎・顔面領域の代表的な先天性疾患の特徴について説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

準備学修項目：
・ 遺伝障害
・ 胎児障害
・ 症候群、特に色素沈着を認めるものと腫瘍を随伴するもの

準備学修時間：60分

=====

講義日 時限 国試出題基準
04月03日 1時限 必修-5-A-e 総論-II-5-A-a 総論-II-5-A-b 総論-II-5-A-c 総論-II-5-A-d

担当者 佐々木 佳世子

テーマ： 歯の解剖学

授業の一般目標： 歯の種類と、その形態的特徴を学ぶ。

到達目標 S B O s :

- 1) 歯の種類と記号を説明できる。
- 2) 永久歯の形態的特徴を説明できる。
- 3) 乳歯の形態的特徴を説明できる。
- 4) 歯種の鑑別ができる。
- 5) 歯の異常を説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

・ 準備学修項目：歯の模型で、歯冠の形、歯根の形と数を観察する。
・ 準備学修時間：45分

講義日	時限	国試出題基準
04月04日	1時限	各論-Ⅱ-1-イ-a 各論-Ⅱ-1-イ-c 各論-Ⅱ-1-イ-d 各論-Ⅱ-1-イ-b

担当者 田口 千恵子

テーマ： 歯科疾患の予防・管理 ①

授業の一般目標： 適切な健康管理、増進を行うために、齲蝕の予防・管理について理解する。

到達目標SBOs：

- 1) 齲蝕の病因について説明できる。
- 2) 齲蝕活動性試験・評価について説明できる。
- 3) 代用甘味料について説明できる。
- 4) 齲蝕の予防手段について説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

・準備学修項目：齲蝕予防についてこれまでの学修を通して理解できていること、理解できていないことの整理をする。

・準備学修時間： 60 分

=====

講義日	時限	国試出題基準
04月05日	1時限	必修-1 2-セ-a 総論-VIII-1-イ-a 総論-VIII-1-イ-b

担当者 谷本 安浩

テーマ： 歯科材料・歯科生体材料の物理的および力学的性質、応力-ひずみ曲線

授業の一般目標： 歯科材料・歯科生体材料を理解するために、それらの物理的および力学的性質について学習する。

到達目標SBOs：

- 1) 金属材料、高分子材料、セラミック材料および複合材料の種類と性質について説明できる。
- 2) 歯科生体材料の物理的および力学的性質について説明できる。
- 3) 応力-ひずみ曲線について説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

準備学修項目：SBOsについて教科書を確認する。

準備学修時間：30分

講義日 時限 国試出題基準
04月06日 1時限 必修-12-コ-a 総論-VII-8-ア-b

担当者 松本 裕子

テーマ： 薬物の作用部位・作用機序①

授業の一般目標： 薬物療法を理解するために、薬物の作用部位・作用機序に関する知識を習得する。

到達目標SBOs：

- 1) G蛋白質共役型受容体に作用する薬物を列挙し、その特徴を説明できる。
- 2) イオンチャネル内臓型受容体に作用する薬物を列挙し、その特徴を説明できる。
- 3) 酵素（キナーゼ）内臓型受容体に作用する薬物を列挙し、その特徴を説明できる。
- 4) 細胞質、核内受容体に作用する薬物を列挙し、その特徴を説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

- ・準備学修項目：「受容体に作用する薬物」に関連する歯科医師国家試験過去問を解き、何が理解できていないか確認する。
- ・準備学修時間：60分

=====

講義日 時限 国試出題基準
04月09日 1時限 必修-5-ア-a

担当者 平塚 浩一

テーマ： 生体を構成する基本物質

授業の一般目標： 身体を構成する基本物質を理解するために、タンパク質・炭水化物・脂質等の構造や特徴および代謝経路を学ぶ。

到達目標SBOs：

- 1) タンパク質を構成するアミノ酸の構造と性状を説明できる。
- 2) 炭水化物の種類と特徴を説明できる。
- 3) 脂質の構造と特徴を説明できる。
- 4) ビタミンの種類とその欠乏症を説明できる。
- 5) エネルギー代謝経路を説明できる。
- 6) 脱アミノ反応、 β 酸化、オルニチン回路を説明できる。
- 7) 酵素の特徴を説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

配布されているプリントを予習して自分のわからないところを探しておくこと。
準備学修時間；1時間

講義日	時限	国試出題基準
04月10日	1時限	必修-5-A-d 必修-5-A-c

担当者 玉村 亮

テーマ： 細胞および上皮組織の構造

授業の一般目標： 人体の構造を理解するために、細胞と上皮組織の構造について習得する。

到達目標 S B O s :

- 1) 真核細胞の構造を説明できる。
- 2) 核の構造を説明できる。
- 3) 細胞小器官を列挙し、それぞれの特徴を説明できる。
- 4) 細胞死の種類を列挙し、それぞれの特徴を説明できる。
- 5) 上皮組織を分類し、それぞれの形態学的特徴と存在部位について説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

準備学修項目：細胞の構造、上皮組織の構造

準備学修時間：30分

=====

講義日	時限	国試出題基準
04月11日	1時限	各論-II-3-I-a 各論-II-3-I-c 各論-II-3-I-b

担当者 田口 千恵子

テーマ： 歯科疾患の予防・管理 ②

授業の一般目標： 歯科疾患の予防・管理を行うために、歯周疾患の予防・管理、歯・口腔の不潔、機能・育成について理解する。

到達目標 S B O s :

- 1) 歯周疾患の病因について説明できる。
- 2) 歯周疾患のリスク因子について説明できる。
- 3) 歯周疾患の予防手段について説明できる。
- 4) 歯の沈着物について説明できる。
- 5) 口腔ケアについて説明できる。
- 6) ライフステージにおける保健指導について説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

・準備学修項目：歯周疾患の予防、歯の沈着物に関して学修しておく。

・準備学修時間： 60 分

講義日	時限	国試出題基準
04月12日	1時限	必修-5-イ-b

担当者 栗原 紀子

テーマ： 微生物の基本的性状

授業の一般目標： 微生物について理解するために、形態学および生理学的特徴について学修する。

到達目標SBOs：

- 1)細菌の基本的性状を説明できる。
- 2)真菌の基本的性状を説明できる。
- 3)ウイルスの基本的性状を説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

準備学修項目：微生物の分類、細菌の構造物と機能、生理と代謝について学修しておく。
準備学修時間：60分程度

=====

講義日	時限	国試出題基準
04月13日	1時限	必修-5-ア-e 総論-II-1-キ-d

担当者 加藤 治、吉垣 純子

テーマ： 自律神経の生理

授業の一般目標： 生体の神経性調節を理解するために、自律神経の機能を学ぶ。

到達目標SBOs：

- 1)自律神経の特徴を説明できる。
- 2)神経伝達物質を列挙できる。
- 3)各臓器における自律神経の調節機能を説明できる。
- 4)自律機能の中枢を説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

- ・準備学修項目：神経の解剖学的走行について確認しておく。
- ・準備学修時間： 30分

講義日 時限
04月16日 1時限

担当者 6年次学年教育主任

テーマ： 平常試験1

準備学修項目と準備学修時間：

- ・準備学修項目：講義ノート，講義配布資料，教科書，実践問題集等
- ・準備学修時間：十分な準備学修時間をとること

=====

講義日	時限	国試出題基準
04月17日	1時限	総論-Ⅱ-4-カ-a

担当者 松野 昌展

テーマ： 神経系総論・自律神経

授業の一般目標： 末梢神経の機能と中枢との関係を理解するために神経系の概要と脳神経核と神経節の構造的機能的意味を習得する。

到達目標SBOs：

- 1) 中枢神経の区分と機能を説明できる。
- 2) 末梢神経の構造的、機能的区分を説明できる。
- 3) 脳神経核の構造と機能を説明できる。
- 4) 神経節の構造と機能を説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

- ・準備学修項目：中枢神経を構成する各部の名称を復習する。脳神経の分布領域を復習する。
- ・準備学修時間： 30 分

講義日	時限	国試出題基準
04月18日	1時限	必修-9-ウ-a 必修-9-ウ-b 必修-9-ウ-c 必修-2-コ-a 必修-2-コ-b

担当者 多田 充裕

テーマ： 医療面接と診療録記載

授業の一般目標： 適切な医療を行うために、医療面接の技法およびPOSに基づく問題指向型診療録（POMR）の記載方法を理解する。

到達目標SBOs：

- 1) 医療面接における質問法を説明できる。
- 2) 医療面接の目的を説明できる。
- 3) 非言語的コミュニケーションについて説明できる。
- 4) 面接者の適切な態度について説明できる。
- 5) POMRの構成要素を説明できる。
- 6) POMRの記載方法を説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

- ・ 医療面接（質問法、医療者の態度、非言語的メッセージ）
- ・ 診療録記載（POMR、SOAP）

50分

=====

講義日	時限	国試出題基準
04月19日	1時限	必修-12-セ-a 総論-VIII-1-イ-c 総論-VIII-1-イ-d 総論-VIII-6-ア-a 総論-VIII-6-ア-b 総論-VIII-6-オ 総論-VIII-6-カ 総論-VIII-7-ア-a

担当者 谷本 安浩

テーマ： 歯科材料・歯科生体材料の化学的および生物学的性質、義歯床用材料

授業の一般目標： 歯科材料・歯科生体材料を理解するために、それらの化学的および生物学的性質、義歯床用材料について学習する。

到達目標SBOs：

- 1) 歯科生体材料の化学的および生物学的性質、生体安全性について説明できる。
- 2) 義歯材料の種類、組成および性質について説明できる。
- 3) 義歯床用アクリルレジンの変形の原因およびその対策について説明できる。
- 4) 義歯床用裏装材の種類、組成および性質について説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

準備学修項目：SBOsについて教科書を確認する。

準備学修時間：30分

講義日	時限	国試出題基準
04月20日	1時限	総論-Ⅱ-1-ク-a 総論-Ⅱ-1-ク-b

担当者 吉垣 純子

テーマ： 内分泌の生理

授業の一般目標： ホルモンの役割と分泌制御機構を理解し、内分泌異常について説明できる。

到達目標SBOs：

- 1) 内分泌と外分泌の違いを説明できる。
- 2) ホルモンの種類と受容体を説明できる。
- 3) 内分泌による糖代謝調節を説明できる。
- 4) 内分泌によるカルシウム代謝調節を説明できる。
- 5) 内分泌による体液調節を説明できる。
- 6) 内分泌における視床下部の役割を説明できる。
- 7) ストレス応答における内分泌の役割を説明できる。
- 8) 内分泌異常の原因を説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

- ・準備学修項目： 内分泌器官と分泌されるホルモンの名称を復習しておく。
- ・準備学修時間： 60分

=====

講義日	時限	国試出題基準
04月23日	1時限	必修-7-ア-h 総論-Ⅲ-1-エ-a 総論-Ⅲ-1-エ-b

担当者 宇都宮 忠彦

テーマ： 循環障害

授業の一般目標： 病因と病態を理解するために、循環障害に関する病理学的知識を修得する。

到達目標SBOs：

- 1) 循環血液量の異常を列挙し、その病理学的特徴について説明できる。
- 2) 閉塞性循環障害を列挙し、その病理学的特徴について説明できる。
- 3) ショックの分類と病理学的特徴について述べる事ができる。
- 4) 側副循環の異常について解説できる。
- 5) 浮腫の成り立ちや病態について説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

- 準備学修項目：
- ・循環血液量の異常(充血、うっ血、虚血、出血、側副循環の異常、ショック)
 - ・閉塞性循環障害(血栓、塞栓、梗塞、DIC)

準備学修時間：60分

講義日 時限 国試出題基準
04月24日 1時限 必修-5-ア-d

担当者 玉村 亮

テーマ： 結合組織（支持組織），筋組織および神経組織の構造

授業の一般目標： 支持組織における結合組織，筋組織および神経組織の構造について習得する。

到達目標 S B O s :

- 1) 結合組織の分類を説明できる。
- 2) 結合組織を構成する線維を説明できる。
- 3) 結合組織に存在する細胞を説明できる。
- 4) 筋組織を分類し，それぞれの構造学的特徴を説明できる。
- 5) 神経組織の構造を説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

準備学修項目： 結合組織，筋組織および神経組織の構造
準備学修時間： 60分

=====

講義日 時限 国試出題基準
04月25日 1時限 各論-V-4-イ-a 各論-V-4-イ-b 必修-4-エ-b

担当者 田口 千恵子

テーマ： 歯科疾患の予防・管理 ③

授業の一般目標： 高齢者の健康管理のための歯科保健管理について理解する。

到達目標 S B O s :

- 1) 歯の喪失予防について理解する。
- 2) フレイルの予防のための口腔衛生管理について理解する。
- 3) 高齢者の口腔機能について理解する。
- 4) 高齢者の栄養管理について理解する。

準備学修項目と準備学修時間：

高齢者の歯科保健管理の項目を30分程度学修すること。

講義日	時限	国試出題基準
04月26日	1時限	必修-5-A-f 総論-II-3-A 総論-II-3-I 総論-II-3-U 総論-II-3-E-a a 総論-II-3-E-b

担当者 落合 智子

テーマ： 自然免疫と獲得免疫

授業の一般目標： 感染防御における免疫のしくみを理解するために、免疫機構の概要に関する知識を修得する。

到達目標SBOs：

- 1) 免疫担当臓器、細胞について説明できる。
- 2) 自然免疫について説明できる。
- 3) 獲得免疫について説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

準備学修項目：免疫組織及び担当臓器、自然免疫に関与する細胞・分子、獲得免疫（体液性免疫、細胞性免疫）について学修しておく。

準備学修時間：60分

=====

講義日	時限	国試出題基準
04月27日	1時限	必修-1 2-C-a 総論-VII-8-A-b

担当者 松本 裕子

テーマ： 薬物の作用部位・作用機序②

授業の一般目標： 薬物療法を理解するために、薬物の作用部位・作用機序に関する知識を習得する。

到達目標SBOs：

- 1) イオンチャネルを阻害する薬物を列挙し、その特徴を説明できる。
- 2) トランスポーターを阻害する薬物を列挙し、その特徴を説明できる。
- 3) 酵素阻害作用を有する薬物を列挙し、その特徴を説明できる。
- 4) 化学的・物理化学的機序を有する薬物を列挙し、その特徴を説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

- ・準備学修項目：「非受容体に作用する薬物」に関連する歯科医師国家試験過去問を解き、何が理解できていないか確認する。
- ・準備学修時間：60分

講義日 時限 国試出題基準
04月28日 1時限 必修-5-A-a

担当者 平塚 浩一

テーマ： エネルギー代謝とホメオスタシス

授業の一般目標： 身体を構成する基本物質を理解するために、ATP合成のエネルギー代謝経路と恒常性の維持を学ぶ。

到達目標SBOs：

- 1) エネルギー代謝経路を説明できる。
- 2) 脱アミノ反応、 β 酸化、オルニチン回路を説明できる。
- 3) 酵素の特徴を説明できる。
- 4) 血糖値の調節を説明できる。
- 5) 血中カルシウム濃度の調節を説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

配布されているプリントを予習して自分のわからないところを探しておくこと。
準備学修時間；1時間

=====

講義日 時限
05月01日 1時限

担当者 6年次学年教育主任

テーマ： 平常試験2

準備学修項目と準備学修時間：

- ・準備学修項目：講義ノート，講義配布資料，教科書，実践問題集等
- ・準備学修時間：十分な準備学修時間をとること

講義日	時限	国試出題基準
05月07日	1時限	必修-7-ア-d 必修-5-ア-d 必修-7-ア-d 総論-III-1-オ-a

担当者 平塚 浩一

テーマ： 細胞外基質と炎症性ケミカルメディエーター

授業の一般目標： 細胞の情報伝達と炎症の発症を理解するために、細胞外基質と炎症性ケミカルメディエーターの種類と特徴を学ぶ。

到達目標SBOs：

- 1) 細胞外基質を列挙できる。
- 2) 細胞接着配列を説明できる。
- 3) コラーゲン・ラミニン・プロテオグリカンの違いを説明できる。
- 4) コラーゲンの合成過程および分解過程を説明できる。
- 5) MMPの種類と特徴を説明できる。
- 6) 炎症性ケミカルメディエーターの種類を列挙できる。
- 7) アミン類やキニン類の合成と特徴を説明できる。
- 8) サイトカインの定義と種類を説明できる。
- 9) エイコサノイドおよびPAFの合成を説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

2年次・4年時に配布したプリントを総合的に復習し、忘れていた箇所をチェックしておく。
準備学修時間；2時間

=====

講義日	時限	国試出題基準
05月08日	1時限	必修-5-ア-e

担当者 五十嵐 由里子

テーマ： 頭蓋骨と筋

授業の一般目標： 頭蓋骨を構成する骨、咀嚼筋・表情筋・舌骨上筋群の起始停止・作用・支配神経を説明できる。

到達目標SBOs：

- 1) 頭蓋骨を構成する骨の名称と構造を説明できる。
- 2) 咀嚼筋の名称・起始停止・作用・支配神経を説明できる。
- 3) 表情筋（頬筋）の起始停止・作用・支配神経を説明できる。
- 4) 舌骨上筋群の起始停止・作用・支配神経を説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

- ・準備学修項目：頭蓋骨を構成する骨15種23個の名称を復習する。
- ・準備学修時間： 30分

講義日 時限 国試出題基準
05月09日 1時限 総論-I-4-ア-a

担当者 笹井 啓史

テーマ： 保健医療総論①

授業の一般目標： 歯科医師として必要な法と制度を学び、社会において医療従事者としての役割と責任について理解し修得する。

到達目標SB0s：

- 1) 1. 社会保障の定義と制度体系について説明できる。
- 2) 2. 保健、医療、福祉（介護を含む）の各制度について説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

- ・準備学修項目：社会保障制度
- ・準備学修時間：180分

講義日 時限 国試出題基準
05月10日 1時限 必修-12-セ-c 必修-12-セ-h 必修-12-セ-e

担当者 岩崎 太郎

テーマ： 印象材、合着・接着用材料、成形修復材料

授業の一般目標： 印象材、合着・接着用材料および成形修復材料を理解するために、それらの基本的性質について学習する。

到達目標SB0s：

- 1) 印象材の種類、組成および性質について説明できる。
- 2) 合着・接着用材料の種類、組成および性質について説明できる。
- 3) 成形修復材料の種類、組成および性質について説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

- 準備学修項目：SB0sについて教科書を確認する。
- 準備学修時間：30分

講義日 時限 国試出題基準
05月11日 1時限 総論-Ⅱ-1-ウ-b

担当者 吉垣 純子

テーマ： 循環調節の生理

授業の一般目標： 循環器の役割を理解し、循環調節を説明できる。

到達目標 S B O s :

- 1) 心臓の構造を説明できる。
- 2) 刺激伝導系の構成と役割を説明できる。
- 3) 体循環と肺循環の経路と違いを説明できる。
- 4) 血管の種類と構造を説明できる。
- 5) 心電図の意味を説明できる。
- 6) 血圧の調節機構を説明できる。
- 7) 循環器の加齢変化を説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

- ・準備学修項目：血液・血球の役割を復習しておく。
- ・準備学修時間： 60分

=====

講義日 時限 国試出題基準
05月14日 1時限 必修-7-ア-i 必修-7-ア-c 必修-7-ア-j 総論-Ⅲ-1-イ-a 総論-Ⅲ-1-イ-b 総論-Ⅲ-1-イ-c 総論-Ⅲ-1-ウ-a 総論-Ⅲ-1-ウ-b

担当者 宇都宮 忠彦

テーマ： 退行性病変・進行性病変

授業の一般目標： 病因・病態を理解するために、退行性病変及び進行性病変に関する病理学的知識について学ぶ。

到達目標 S B O s :

- 1) 萎縮、壊死(ネクロシス)、壊疽及びアポトーシスについて説明できる。
- 2) 変性を分類し、その特徴と代表的疾患について解説できる。
- 3) 代謝障害とその代表的疾患について説明できる。
- 4) 肥大、過形成(増生)、化生について分類し、説明できる。
- 5) 再生の基本について解説できる。
- 6) 創傷治癒と異物処理について解説できる。

準備学修項目と準備学修時間：

- 準備学修項目：
 - ・萎縮の種類と特徴
 - ・変性の種類と特徴および代表的疾患
 - ・壊死、壊疽およびアポトーシスの特徴
 - ・肥大・過形成、増生、化生の特徴
 - ・創傷治癒機序
 - ・異物の処理機構
 - ・移植の病理学

準備学修時間：60分

講義日 時限 国試出題基準
05月15日 1時限 必修-5-ア-d

担当者 玉村 亮

テーマ： 骨組織と軟骨組織の構造および血液の成分

授業の一般目標： 人体の構造を理解するために、支持組織における骨組織と軟骨組織の構造，および血液の成分について習得する。

到達目標SBOs：

- 1) 骨組織に存在する細胞を列挙し，その構造と特徴を説明できる。
- 2) 骨組織の基本構造について説明できる。
- 3) 骨改造現象について説明できる。
- 4) 軟骨組織を分類し，その構造的な特徴と主な存在部位を説明できる。
- 5) 血液の成分を列挙し，それぞれの特徴を説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

準備学修項目：骨組織と軟骨組織の構造，および血液の成分

準備学修時間：60分

=====

講義日 時限 国試出題基準
05月16日 1時限 必修-2-イ-a 必修-3-ア-a 必修-3-ア-b 必修-3-ア-c 必修-3-ア-d

担当者 笹井 啓史

テーマ： 保健医療総論②

授業の一般目標： 歯科医師として必要な法と制度を学び、社会において医療従事者としての役割と責任について理解し修得する。

到達目標SBOs：

- 1) 歯科医師法等歯科医師の法的義務について説明できる。
- 2) 医療関係職種の各身分に関する関係法規について説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

- ・準備学修項目：歯科医師法他医療関係職種各身分法
- ・準備学修時間：180分

講義日 時限 国試出題基準
05月17日 1時限 総論-Ⅲ-1-カ-b

担当者 續橋 治

テーマ： 感染と感染防御

授業の一般目標： 微生物による感染症と感染防御を理解するために、感染の成立から疾患を発症するまでの過程と病原因子、また滅菌と消毒および化学療法について学習する。

到達目標SBOs：

- 1) 感染経路と感染成立までの過程を説明できる。
- 2) 感染の種類と病原因子を説明できる。
- 3) 細菌性食中毒を説明できる。
- 4) 滅菌と消毒の種類と方法・適応を説明できる。
- 5) 化学療法の目的と化学療法薬の作用機序を説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

準備学修項目：感染経路、感染の種類、感染成立までの過程、細菌性食中毒の種類、滅菌と消毒の種類と方法・適応、化学療法の目的と化学療法薬の種類と作用機序を学修しておく。
準備学修時間：60分

=====

講義日 時限 国試出題基準
05月18日 1時限 必修-1 2-コ-b 総論-VII-8-ア-c 総論-VII-8-イ-a

担当者 松本 裕子

テーマ： 適用方法、薬物動態

授業の一般目標： 薬物療法を理解するために、適用方法、薬物動態に関する知識を習得する。

到達目標SBOs：

- 1) 適用方法の種類と特徴を説明できる。
- 2) 吸収、分布、代謝、排泄を説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

- ・準備学修項目：「適用方法、薬物動態」に関連する歯科医師国家試験過去問を解き、何が理解できていないか確認する。
- ・準備学修時間：60分

講義日 時限
05月21日 1時限

担当者 6年次学年教育主任

テーマ： 平常試験3

準備学修項目と準備学修時間：

- ・準備学修項目：講義ノート，講義配布資料，教科書，実践問題集等
- ・準備学修時間：十分な準備学修時間をとること

=====

講義日	時限	国試出題基準
05月22日	1時限	必修-5-A-e

担当者 五十嵐 由里子

テーマ： 頭蓋骨と神経・脈管

授業の一般目標： 頭蓋骨を構成する骨・脳神経の通路・外頸動脈の枝の通路を説明できる。

到達目標SBOs：

- 1) 頭蓋骨を構成する骨の名称と構造を説明できる。
- 2) 脳神経の通路と脳神経が通る頭骨の孔を説明できる。
- 3) 外頸動脈の枝の通路と顎動脈が通る頭骨の孔を説明できる。
- 4) 翼口蓋窩と構造が説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

- ・準備学修項目：脳神経と顎動脈が通る頭骨の孔を復習する。
- ・準備学修時間： 30分

講義日 時限 国試出題基準
05月23日 1時限 必修-2-イ-h 総論-I-4-ア-b 総論-I-4-ア-c

担当者 笹井 啓史

テーマ： 保健医療総論③

授業の一般目標： 歯科医師として必要な法と制度を学び、社会において医療従事者としての役割と責任について理解し修得する。

到達目標SB0s：

- 1) 我が国の社会保障制度を踏まえた医療保険制度を説明できる。
- 2) 医療保険制度における医療費の動向を説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

- ・ 準備学修項目：医療保険制度、医療経済
- ・ 準備学修時間：180分

=====

講義日 時限 国試出題基準
05月24日 1時限 必修-1-2-セ-d 総論-VIII-4-ア-a 総論-VIII-4-イ-a 総論-VIII-7-ウ-a 総論-VIII-7-ウ-b 総論-VIII-7-ウ-c

担当者 谷本 安浩

テーマ： 模型材、ワックス、鋳造の要点、埋没材

授業の一般目標： 精度の良い鋳造体を作製するための方法を理解するために、模型材、ワックス、埋没材および歯科精密鋳造について学習する。

到達目標SB0s：

- 1) 歯科用石膏の種類、組成および性質について説明できる。
- 2) 歯科用ワックスの種類、組成および性質について説明できる。
- 3) ワックスパターンの変形の原因およびその対策について説明できる。
- 4) 鋳造用埋没材の種類、組成および性質について説明できる。
- 5) 歯科精密鋳造の原理と鋳造欠陥の発生原因およびその対策について説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

- 準備学修項目：SB0sについて教科書を確認する。
- 準備学修時間：30分

講義日 時限 国試出題基準
05月25日 1時限 総論-II-1-U-a

担当者 吉垣 純子

テーマ： 呼吸調節の生理

授業の一般目標： 呼吸の調節機構を理解するために、呼吸器の構成と酸素運搬機構を学ぶ。

到達目標SBOs：

- 1) 外呼吸と内呼吸を説明できる。
- 2) 呼吸筋とその役割を列挙できる。
- 3) 肺気量の種類を説明できる。
- 4) ヘモグロビンの酸素解離曲線を説明できる。
- 5) 血漿pHにおける重炭酸緩衝系の役割を説明できる。
- 6) 血漿pHの異常と成因を説明できる。
- 7) 呼吸機能の加齢変化を説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

- ・準備学修項目：呼吸器の構造を理解しておく。
- ・準備学修時間： 60分

=====

講義日 時限 国試出題基準
05月26日 1時限 総論-VII-8-U-a 総論-VII-8-U-b 総論-VII-8-U-f

担当者 松本 裕子

テーマ： 鎮痛薬、抗炎症薬、止血薬、抗血栓薬

授業の一般目標： 薬物療法を理解するために、鎮痛薬、抗炎症薬、止血薬、抗血栓薬に関する知識を習得する。

到達目標SBOs：

- 1) 麻薬性・非麻薬性鎮痛薬を列挙し、作用機序、副作用を説明できる。
- 2) ステロイド性抗炎症薬を列挙し、作用機序、副作用を説明できる。
- 3) 非ステロイド性抗炎症薬を列挙し、作用機序、副作用を説明できる。
- 4) 抗アレルギー薬を列挙し、作用機序、副作用を説明できる。
- 5) 止血薬、抗血栓薬を列挙し、作用機序、副作用を説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

- ・準備学修項目：「鎮痛薬、抗炎症薬、止血薬、抗血栓薬」に関連する歯科医師国家試験過去問を解き、何が理解できていないか確認する。
- ・準備学修時間：60分

講義日	時限	国試出題基準
05月28日	1時限	必修-7-ア-d 必修-7-ア-e 必修-7-ア-f 総論-Ⅲ-1-オ-a 総論-Ⅲ-1-オ-b 総論-Ⅲ-1-オ-c 総論-Ⅲ-1-オ-d 総論-Ⅲ-1-カ-c

担当者 宇都宮 忠彦

テーマ： 炎症

授業の一般目標： 病因・病態を理解するために、炎症に関する病理学的知識について学修する。

到達目標SBOs：

- 1) 炎症の5徴候と病理学的意義について説明できる。
- 2) 炎症の病因について述べるができる。
- 3) 急性炎症と慢性炎症の相違点について説明できる。
- 4) 炎症の病理組織学的分類(各型分類)と病態について解説できる。
- 5) 炎症性細胞の種類と機能について説明できる。
- 6) アレルギー、自己免疫疾患及び膠原病の分類と病理学的特徴について解説できる。
- 7) 代表的な口腔感染症及び口腔粘膜の皮膚科的疾患の病理学的特徴について述べるができる。

準備学修項目と準備学修時間：

準備学修項目：
・炎症の5徴候
・急性炎症と慢性炎症の相違点
・炎症の病理組織学的分類
・炎症性細胞の種類と特徴
・アレルギーの分類
・自己免疫疾患の分類
・主な口腔感染症

準備学修時間：60分

=====

講義日	時限	国試出題基準
05月29日	1時限	総論-Ⅱ-5-イ-a 総論-Ⅱ-5-イ-b

担当者 玉村 亮

テーマ： エナメル質，セメント質および象牙質・歯髄複合体の構造

授業の一般目標： 人体の構造を理解するために、エナメル質，セメント質および象牙質・歯髄複合体の構造を習得する。

到達目標SBOs：

- 1) エナメル質，セメント質，象牙質および歯髄の性質および構造を説明できる。
- 2) エナメル質，セメント質および象牙質の成長線を説明できる。
- 3) エナメル質，セメント質，象牙質および歯髄の加齢変化を説明できる。
- 4) 象牙質・歯髄複合体の考え方を説明できる。
- 5) 歯髄を構成する細胞成分および線維成分を説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

準備学修項目：エナメル質，セメント質および象牙質・歯髄複合体の構造
準備学修時間：60分

講義日 時限 国試出題基準
05月30日 1時限 総論-I-9-ア-c

担当者 後藤田 宏也

テーマ： 健康管理・増進と予防①

授業の一般目標： 適切な健康管理を行うために、感染症対策、国民栄養・食品保健および環境保健について理解する。

到達目標SBOs：

1)環境保健について説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

環境保健について概説できる(60分)

=====

講義日 時限 国試出題基準
05月31日 1時限 総論-III-1-キ-a 総論-III-1-キ-b 総論-III-1-キ-c 総論-III-1-キ-d

担当者 落合 智子

テーマ： 免疫異常（免疫不全、アレルギー、自己免疫疾患）

授業の一般目標： 免疫疾患を理解するために、免疫異常（免疫不全、アレルギー、自己免疫疾患）に関する知識を習得する。

到達目標SBOs：

- 1)免疫不全について説明できる。
- 2)アレルギーの種類、発症機序を説明できる。
- 3)自己免疫疾患の種類、発症機序を説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

準備学修項目：免疫不全の種類、アレルギーの種類、発症機序、自己免疫疾患の種類、発症機序を学修しておく。
準備学修時間：60分

講義日	時限	国試出題基準
06月01日	1時限	必修-5-A-b

担当者 平塚 浩一

テーマ： 染色体とタンパク質合成

授業の一般目標： 染色体構造や遺伝情報の流れを理解するために、染色体・遺伝子の基本構造とDNAの複製およびタンパク質合成機序を学ぶ。

到達目標SBOs：

- 1) 染色体の構成成分を説明できる。
- 2) テロメアを説明できる。
- 3) 核酸の種類と構造を説明できる。
- 4) 遺伝子の構造を説明できる。
- 5) 遺伝子の転写・複製を説明できる。
- 6) 翻訳後修飾を説明できる。
- 7) ストレスタンパク質とユビキチンを説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

2年生で配布したプリントを総合的に見直す。
準備学修時間；1時間

=====

講義日	時限
06月04日	1時限

担当者 6年次学年教育主任

テーマ： 平常試験4

準備学修項目と準備学修時間：

- ・準備学修項目：講義ノート，講義配布資料，教科書，実践問題集等
- ・準備学修時間：十分な準備学修時間をとること

講義日 時限 国試出題基準
06月05日 1時限 必修-5-A-e

担当者 松野 昌展

テーマ： 全身の解剖学（人体の構造と機能概要）

授業の一般目標： 全身の器官系の構成を理解することにより構造と機能に関する基礎的な知識を習得する。

到達目標 S B O s :

- 1) 消化器系の構成を説明できる。
- 2) 呼吸器系の構成を説明できる。
- 3) 泌尿器系の構成を説明できる。
- 4) 循環器系の構成を説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

- ・準備学修項目：各器官系を構成する器官の名称を復習する。
- ・準備学修時間： 30 分

講義日 時限 国試出題基準
06月06日 1時限 総論-I-7-A-b

担当者 後藤田 宏也

テーマ： 健康管理・増進と予防②

授業の一般目標： 適切な健康管理を行うために、感染症対策、国民栄養・食品保健および環境保健について理解する。

到達目標 S B O s :

- 1) 感染症対策について説明できる。
- 2) 国民栄養と食品保健について説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

感染症対策と国民栄養・食品保健について概説できる（60分）

講義日	時限	国試出題基準
06月07日	1時限	必修-1 2-セ-b 総論-VIII-6-イ-a 総論-VIII-2-ア-b 総論-VIII-2-ア-c 総論-VIII-2-ア-d 総論-VIII-2-イ 総論-VIII-6-ウ-c 総論-VIII-7-イ-a

担当者 岩崎 太郎

テーマ： 陶材、陶材焼付用金属、歯冠用レジン、切削・研削・研磨用材料、歯科用レーザー

授業の一般目標： 陶材、陶材焼付用金属、歯冠用レジン、切削・研削・研磨用材料、歯科用レーザーについて理解するために、それらの基本的性質について学習する。

到達目標 S B O s :

- 1) 歯科用セラミックスの種類、組成および性質について説明できる。
- 2) 陶材と金属の接合について説明できる。
- 3) 歯冠用レジンの種類、組成および性質について説明できる。
- 4) 切削・研削・研磨用材料の種類、組成および性質について説明できる。
- 5) エアータービンおよびマイクロモータの特徴について説明できる。
- 6) 歯科用レーザーの種類および特徴について説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

準備学修項目：SB0sについて教科書を確認する。

準備学修時間：30分

=====

講義日	時限	国試出題基準
06月08日	1時限	総論-II-1-キ-a

担当者 吉垣 純子

テーマ： 興奮性細胞の生理

授業の一般目標： 神経と筋肉の働きを理解するために、膜電位と興奮伝導・伝達の本メカニズムを学ぶ。

到達目標 S B O s :

- 1) 静止膜電位の成立機構を説明できる。
- 2) 活動電位の発生メカニズムを説明できる。
- 3) 神経、骨格筋、心筋の活動電位の違いを説明できる。
- 4) 細胞外電極法と細胞内電極法を説明できる。
- 5) 神経線維の種類と役割を説明できる。
- 6) 興奮伝達の本メカニズムを説明できる。
- 7) 主な神経節の名称と役割を説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

・準備学修項目：細胞内外のイオン組成を復習しておく。チャンネルとポンプの役割を理解しておく。

・準備学修時間： 60分

講義日	時限	国試出題基準
06月09日	1時限	必修-7-ア-g 必修-7-イ-i 必修-7-イ-j 総論-Ⅲ-1-ク-a 総論-Ⅲ-1-ク-c 総論-Ⅲ-1-ク-d 総論-Ⅲ-1-ク-e 総論-Ⅲ-1-ク-f

担当者 宇都宮 忠彦

テーマ： 腫瘍・嚢胞

授業の一般目標： 病因・病態を理解するために、腫瘍及び嚢胞の病理学的知識を修得する。

到達目標 S B O s :

- 1) 腫瘍の定義について述べるができる。
- 2) 腫瘍の病理組織学的分類について説明できる。
- 3) 腫瘍発生の諸段階と転移について説明できる。
- 4) 口腔・顎・顔面領域に後発する代表的な腫瘍の病理学的特徴について解説できる。
- 5) 嚢胞の定義と分類について説明できる。
- 6) 嚢胞の病理組織学的特徴について解説できる。

準備学修項目と準備学修時間：

- 準備学修項目：
- ・腫瘍の定義
 - ・腫瘍の病理組織学的分類
 - ・良性腫瘍と悪性腫瘍の鑑別
 - ・嚢胞の分類と病理組織学的特徴

準備学修時間：60分

講義日	時限	国試出題基準
06月11日	1時限	総論-Ⅱ-5-イ-a 必修-5-イ-c 総論-Ⅱ-5-イ-a 総論-Ⅱ-5-イ-b 総論-Ⅱ-6-オ-a

担当者 平塚 浩一

テーマ： 歯と歯周組織および唾液の構成成分

授業の一般目標： 口腔の機能を理解するために、歯と唾液および歯周組織のタンパク質の特徴を学ぶ。

到達目標 S B O s :

- 1) エナメル質の無機質・有機質の種類と特徴を説明できる。
- 2) 象牙質の有機質の種類とその特徴を説明できる。
- 3) 歯肉の代謝の特徴を説明できる。
- 4) 唾液緩衝作用・抗菌因子に関連する因子を列挙し機能を説明できる。
- 5) 唾液の消化酵素について説明できる。
- 6) 唾液の粘性と血液型判定について説明できる。
- 7) 唾液と歯肉溝滲出液の成分の違いを説明できる。
- 8) 歯肉の抗菌因子を説明できる。
- 9) 血清タンパク質の種類とその機能を説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

2年次に配布したプリントを総合的に見直す。
準備学修時間；1時間

講義日	時限	国試出題基準
06月12日	1時限	必修-5-A-e 総論-II-1-A-a

担当者 玉村 亮

テーマ： 口腔粘膜および唾液腺の構造

授業の一般目標： 人体の構造を理解するために、口腔粘膜および唾液腺の構造を習得する。

到達目標 S B O s :

- 1) 口腔粘膜の構造を説明できる。
- 2) 口腔粘膜の機能的分類とそれぞれの特徴や該当部位を説明できる。
- 3) 唾液腺の構造を説明できる。
- 4) 唾液腺の種類、特徴および存在部位を説明できる。
- 5) 口腔粘膜および唾液腺の加齢変化を説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

準備学修項目：口腔粘膜および唾液腺の構造

準備学修時間：60分

=====

講義日	時限	国試出題基準
06月13日	1時限	総論-I-6-I-b

担当者 後藤田 宏也

テーマ： 健康管理・増進と予防③

授業の一般目標： 適切な健康管理を行うために、人口・保健統計とその応用について理解する。

到達目標 S B O s :

- 1) 人口統計について説明できる。
- 2) 保健統計について説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

人口・保健統計とその応用について概説できる (60分)

講義日 時限 国試出題基準
06月14日 1時限 総論-Ⅲ-1-カ-b

担当者 栞原 紀子

テーマ： 病原微生物と感染症

授業の一般目標： 微生物感染症について理解するために、感染症の種類と起因する微生物について学修する。

到達目標SBOs：

- 1) 細菌感染症の種類と起因する細菌を説明できる
- 2) 真菌感染症の種類と起因する真菌を説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

準備学修項目： 病原微生物と関与する感染症について学修しておく。
準備学修時間： 60分程度

=====

講義日 時限 国試出題基準
06月15日 1時限 総論-VII-8-ウ-c 総論-VII-8-ウ-d 総論-VII-8-ウ-e

担当者 松本 裕子

テーマ： 抗感染症薬、抗腫瘍薬、代謝改善薬、ビタミン

授業の一般目標： 薬物療法を理解するために、抗感染症薬、抗腫瘍薬、代謝改善薬、ビタミンに関する知識を習得する。

到達目標SBOs：

- 1) 抗菌薬、抗真菌薬、抗ウイルス薬を列挙し、作用機序、副作用を説明できる。
- 2) 消毒薬を列挙し、作用機序、副作用を説明できる。
- 3) 抗腫瘍薬を列挙し、作用機序、副作用を説明できる。
- 4) ビタミン製剤を列挙し、作用機序、副作用を説明できる。
- 5) 硬組織代謝改善治療薬を列挙し、作用機序、副作用を説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

・準備学修項目： 「抗感染症薬、抗腫瘍薬、代謝改善薬、ビタミン」に関連する歯科医師国家試験過去問を解き、何が理解できていないか確認する。
・準備学修時間： 60分

講義日 時限
06月18日 1時限

担当者 6年次学年教育主任

テーマ： 平常試験5

準備学修項目と準備学修時間：

- ・準備学修項目：講義ノート，講義配布資料，教科書，実践問題集等
- ・準備学修時間：十分な準備学修時間をとること

=====

講義日 時限
06月30日 1時限

担当者 6年次学年教育主任

テーマ： 再試験

準備学修項目と準備学修時間：

- ・準備学修項目：講義ノート，講義配布資料，教科書，実践問題集等
- ・準備学修時間：十分な準備学修時間をとること

=====